



## 恐竜のまちづくり最前線

パート 6



今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

### ホッピー発見40周年 はじまりの標本が博物館へ

5月30日(土)、ホベツアラキリュウ(愛称:ホッピー)の最初に発見された標本(荒木標本)の受領式が穂別博物館で行われました。これまでは発見者である荒木新太郎さんが所有していましたが、「仲間と一緒にさせてあげたい」という荒木さんの希望で、穂別博物館に寄贈されました。

ホッピーは穂別博物館の整備、化石や古生物を活かしたまちづくりのきっかけになりました。発見から40周年の節目にその最初の標本が公の機関に寄贈されたことは町の歴史からみてもたいへん意義のあるできごとです。

荒木標本はホッピーのヒレにあたる化石が含まれており、また歯のようなものが部分的に確認できるとのことで、さらなる研究に役立てられることが期待されています。標本は7月5日(日)まで穂別博物館に展示された後、展示用のレプリカ製作とクリーニング作業が行われる予定です。



荒木標本に手をかける荒木新太郎さんと妻のトキ子さん、二人を見おろすホッピー

### 化石を満喫! 魅力体感ツアーの試行



町内にある1,500万年前の地層を見学しました!

6月14日(日)に穂別地域協議会による「ほべつの恐竜満喫ツアー」が開催されました。これは魅力ある地域資源を体感するツアーの開発にむけた取組みの一つです。

当日は穂別博物館で化石や地層に関するレクチャーを受け、約1,500万年前の地層や貝化石を現地で見学しました。その後キャンプ場に移動して化石のかんたんなクリーニング・レプリカ製作体験の他、ワニやダチョウの肉を使用した恐竜メニューの試食を行いました。今後は改善点などさまざまな意見をもとに、魅力体感ツアーづくりが行われる見通しです。

担当: 太田晶(地域おこし協力隊)

### 人々の動き

平成27年5月31日現在

※( )は前月比。住基法の改正により、外国人数を含みます。

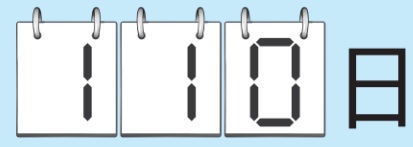
▶ 人口	8,884人 (-19)
▶ 男性	4,360人 (-12)
▶ 女性	4,524人 (-7)
▶ 鶴川地区	6,022人 (-12)
▶ 穂別地区	2,862人 (-7)
▶ 世帯	4,443世帯 (-3)

平成27年5月1日~31日

出生	4人	死亡	11人
転入	19人	転出	31人

### 交通死亡事故ゼロ日数

平成27年5月31日現在



- ジョギング中もルールやマナーを守りましょう!
- 歩行者であることを忘れずに!
- 音楽を聴きながら走るのは危険です!
- 夜間は目立つ服装と夜行反射材の活用を!

